

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870200896		
法人名	株式会社 クリエイト		
事業所名	グループホーム 久慈浜	ユニット名	1F
所在地	〒319-1222 茨城県日立市久慈町3-4-14		
自己評価作成日	平成21年10月30日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年12月21日	評価確定日	平成22年5月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

庭に、菜園や簡単なパターゴルフをするスペースがあり、天気のよい日は外に出て過ごされます

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

パターゴルフ場や自家菜園を設け、利用者が昔ながらの家庭的な生活ができるよう支援をしている。 職員は利用者に使い慣れた様々な物品を持ち込んでもらい、利用前の生活と変わりなく居心地良く暮らせるよう支援をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念3項目を作り、毎朝申し送り時、全員で唱和し、実践している	「利用者が自分らしく生き甲斐を持って生活できるよう、家族や地域とのつながりを大切にし、安心して暮らしていけるよう、支援します。」を理念に掲げ、事務所や台所に掲示している。 職員は毎朝理念を唱和し、共有しながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣の神社清掃に参加したり、小学校のイベントに招待されたりして交流を持っている 近隣の飲食店や商店を利用している	利用者は年5回から6回、職員と一緒に神社の清掃をしている。 中学生の職場体験を受け入れたり、小学校のイベントに参加するほか小学生が来訪するなど、利用者は地域の一員として交流している。 利用者は近隣の店舗へ外食や買い物に出かけ、日常的に地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	防災訓練時、近隣住民にも声をかけ、いっしょに消火器の取扱い方法を消防署員から学んだり、事業所内で行なう応急手当救命講習に参加していただき、共に学ぶ機会を持っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議事録を作成し、職員全員に周知。必要に応じ会議等で話し合っている	運営推進会議は利用者の代表や家族等の代表、市職員、施設長などで2ヶ月に1回開催するとともに、会議録を作成している。 会議では事業所の活動報告をするほか、学校との交流について話し合ったり、交流センターを利用した行事の提案を受けるなど積極的に話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の事業所懇談会や連絡会に参加し、意見交換をしている 市の担当課と情報交換や相談などを行ない、協力を得ている	管理者は市の事業所懇談会や連絡会に参加し、積極的に意見交換をするほか市担当者と連絡を取り合い、感染症対策などの相談で協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に講習を行っており、身体拘束をしないケアの理解に努めている 玄関の施錠に関しては、利用者様の離脱があり、運営推進会議等で話し合ったり、ご家族の了承のもと施錠している	全職員は外部研修に参加したりグループミーティングを行い、身体拘束の弊害を理解するとともにマニュアルを作成し、身体拘束をしないケアに努めている。 運営推進会議で家族等から安全を第一に考えて欲しいとの意見があり、家族等の承諾を得てやむを得ず玄関を施錠している。 職員は利用者の外出したい行動を察知した場合はすぐに解錠し、一緒に散歩などに行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内外の研修参加と報告を行なっている 職員は自ら自覚を持って防止に努めている 普段の生活で身体だけでなく言葉の暴力（虐待）が見過ごされていないか気を配っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について、研修などで勉強する機会を持っている 成年後見制度の手続きの支援を行なった		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、理解が得られるよう、十分な話し合いを行ない、契約書や同意書を取り交わしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、面会、家族会等でご家族の意見、要望をお聞きし、反映している 利用者様は、介護相談員の訪問時に話を聞いてもらっている 玄関に意見箱を設置している	運営推進会議で利用者や家族等から出た「利用者の1日の流れを教えて欲しい」、「防災訓練を頻繁に実施して欲しい」などの要望を運営に反映させている。 家族等の来訪時や月1回の介護相談員の訪問時に意見や要望を聴いている。 玄関に意見箱を設置している。	無記名のアンケートを実施し、利用者や家族等から意見等を汲みあげるとともに、出た意見等を運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や、週間報告書等で提案する機会を設け、反映させている	管理者と職員は月1回職員会議で活発な意見交換を行い、業務改善や記録の改善、入浴は夕方からが良いのではないかなどの意見等を運営に反映させている。 管理者は職員から週間報告書を提出してもらい、きめ細かい意見や提案を汲みあげるよう工夫するとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面接や、週間報告書等で把握し、意見を聞き整備に努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会、研修の案内を職員に提示し、希望する研修に参加できるよう調整している 研修へ行った職員は研修内容を他職員にも情報提供している 応急手当救命講習は全員が受講している また、新人教育が円滑にできるようマニュアルを整備した		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームとイベントや会議、応急手当の講習等で交流している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にホーム見学していただき、要望をよく聞いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にホーム見学していただき、要望をよく聞いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な対応ができるよう対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人とよくコミュニケーションをとっている 人生の先輩という事を忘れず、いろいろ教わったり、知識や経験を活かして得意なことを行なっていたり、お互いに支え合いながら暮らしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で話を聞き、情報を共有している 好きな時に面会、外出等できるように支援し居室に宿泊も自由に行ける イベント、行事があるときはお知らせし自由に参加できるようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人の面会があり、一緒に外出したり墓参りに出かけている	職員は利用者と一緒に馴染みの場所に出かけ、昔からの趣味である釣りや写真撮影ができるよう支援している。 利用者の昔馴染みの友人や親戚が事業所に遊びに来ている。 利用者は携帯電話で家族等と話したり、友人と手紙のやり取りをしているほか、ボランティアの美容師に出張理美容で来てもらっている。 職員は利用者がこれまでの地域社会との交流が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルの席を調整したり、レクリエーションや散歩、趣味活動を通して、一緒に楽しむことができるよう支援している 1階、2階を自由に行き来でき、合同で行事を行なうこともある		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時々訪ねてくださる家族もあり、思い出話などしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	受け持ちを中心に本人の希望を聞き把握している 困難な場合は職員間で話し合い、本人本位に検討している	職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握するとともに、日々の係わりの中で利用者の行動や表情を観察し、思いや意向の把握に努めている。 意志疎通が困難な利用者は家族等の来訪時に話を聞き、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント表、ご家族等から今までの生活環境を見聞きし、サービスにつなげている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録、個人のファイルから把握できるカンファレンスで、本人の現状について話し合いをしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス等で話し合い、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は利用者や家族等の意見を聞き、職員会議で話し合って作成している。 定期的にモニタリングを行い、新たな課題や心身の状態に変化が生じた場合は随時見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個人記録を記入し、申し送りや連絡帳で情報共有しながら実践している。必要に応じ、カンファレンスを行ない、計画の見直しをしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一緒に買い物に出かける庭に、バターゴルフができるようホールを作った 雨の日でも、運動ができるようエアロバイクが置いてある		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の消防署、警察署に協力していただいている ボランティアに来てもらったり、交流センターを利用している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	本人、家族の希望でかかりつけを決定している。定期的な通院のほか、病状に応じ、かかりつけの医師へ相談し適切な医療が受けられるよう支援している 協力病院の医師によるインフルエンザの予防接種をホーム内で全員受けた	利用者や家族等の意向を踏まえ、利用前からのかかりつけ医を受診できるように支援している。 緊急時に対応できる病院を確保するほか、すぐ近くに協力医療機関があり、定期的な通院や病状に応じて適切な医療が受けられるよう支援している。 協力医療機関の往診によるインフルエンザの予防接種をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切	気になる症状や、処置内容を相談、決定する看護職員がおり、支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、定期的に面会に行き、利用者の心身の状態を把握できるようにしている。病院の医師、看護師と、密に連絡をとり情報交換している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合の対応にかかる指針」「看取りに関する指針」を作成し、家族より同意をいただいている指針については職員も理解しているが実例はない	重度化した場合の対応指針や看取りに関する指針を契約時に家族等に説明し同意を得ている。 看取りの経験は無い。 重度化や看取りの対応について職員は年1回研修しているが、地域の関係者とチームで支援に取り組むまでには至っていない。	今後に備え医師や看護師、管理者、職員などチームでの支援体制を整備することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当救命講習は全員が受講している DVDを使用して事故発生時の対応に関する研修を行ったり、急変を想定した訓練を定期的に行っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、総合消防訓練を実施し、地域の住民にも参加の案内をし、協力をお願いをしている 毎月、自主防災訓練を実施している 水害ハザードマップを掲示し、避難経路を確認できるようにしている	消防署指導のもと夜間を想定した訓練を含めて年2回避難訓練を実施している。 避難訓練は地域住民の協力を得ている。 水害ハザードマップを掲示し、避難経路を確認できるようにしている。 管理者は毎月通報訓練や消火器の使い方などの自主防災訓練を実施したり、乾パンや缶詰などの食糧や飲料水を備蓄するなど、災害対策に向けた体制づくりに努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した言葉かけや、対応をしている	職員は利用者の生活歴を把握するとともに外部研修に参加したりマニュアルを作成し、利用者の人格の尊重に努めている。 職員は入浴を一人ずつ対応したり、さりげなくトイレ誘導をし、必ずドアを締めたり着替えは居室で行うなど、利用者のプライバシーを損ねないよう声かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人にわかりやすい言葉、説明を行い自己決定できるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何か行なうときは声かけし本人の希望を確認している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴準備の際、利用者と一緒に好きな服を選び、着ていただいている 入れ歯のつけ忘れ、服装の乱れはさりげなく声かけし、整えている 理容や、フェイスエステは希望を聞いて実施している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	希望食、外食をしたり、出前をとることもある うどん作りでは、全員ができる範囲で参加した。調理もできるところを行ったり、味見をしていただいている。食事は職員も一緒にいただき、片付けも一緒に行なう	職員は利用者と一緒に食卓を囲み、声かけや食事の介助をしながら楽しく食事をしている。 利用者は能力に合わせて食事の準備や配膳、下膳を担っている。 職員は利用者の希望にそって外食や出前を取るなど、食事を楽しめるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算した献立になっている 毎月、体重測定を行ない、食事量を調整している 一人一人の摂取量を毎日チェックし、職員が利用者の状態を把握し十分な水分の確保ができるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、できる方には歯みがきを、また口腔ケアを介助にて実施している 腔内の状態も随時確認している 週1回、歯科医師、衛生士による歯科検診、口腔ケアが行なわれている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンがわかるよう記録をし、排泄のサインを見逃さず、トイレ誘導している 日中はできるだけ下着で対応できるようにしたり、おむつ使用等カンファレンスで話し合い、定期的に見直している	職員は排泄チェック表を活用したり利用者の習慣を把握し、時間を見計らって声かけやトイレ誘導をし、トイレで排泄ができるよう支援している。 夜間は居室にポータブルトイレを置き、なるべくおむつを使用しないで済むよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩など体を動かしていただくよう支援している 便秘傾向のある方には、乳製品を摂取していただくなど個々に合わせた対応をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	隔日の入浴と、ある程度の時間帯は決めてあるが、入浴時間、順番等は希望に沿って支援している	入浴は午後から夕方にかけて支援している。 職員は入浴の順番や時間など利用者の希望にそって、ゆったりと入浴ができるよう配慮したり、柚子湯など季節を感じながら入浴が楽しめるよう工夫をしている。 入浴を拒む利用者には、声かけを工夫したり足浴やシャワー浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠時間についても記録をしており、状況に合わせた休息の支援をしている。消灯時間を決めていない 今までの生活習慣を把握し、自宅で使っていたベッドや畳に布団を敷いて休んでいただいている。寝具類を清潔にしている 一人一人に合わせて昼寝の実施をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルと薬袋で内服薬の内容が確認できるようになっており、用法・用量について理解している 服薬時、後の変化について異常があるときは報告、対応している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯たたみ、洗濯干し、掃除などの役割がある 散歩、レクリエーション、神社参拝など一人一人に合わせて支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、日光浴、神社参拝を日常的に行ない、季節に合わせて花見、花火、家族会などの外出をしている 家族との外出も支援している	職員は利用者の体調に配慮しながら天気の良い日は散歩や日光浴、神社参拝ができるよう支援をしている。 季節に応じて花見や花火見物、ドライブなど様々な外出支援をしている。 利用者は家族等の協力を得ながら買い物や温泉などへ外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談して管理のできる利用者には少額のお金を持っていただいている ジュースを自動販売機で買ったり、神社でお賽銭をあげたりしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状は全員が書いている 電話の取りつぎをしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や洗面所には季節の花を飾ったり、食堂内に季節に合わせた手作りカレンダーや日めくりカレンダーを貼っている トイレは、冬寒くないよう温風ヒーターをつけるようにしている	リビング兼食堂は広く明るく、全面ガラス張りの窓から差し込む日差しをカーテンで調節をしている。 廊下や食堂に季節の花や行事の写真などを飾り、季節感を取り入れている。 トイレは冬はヒーターを使用し、温度調整を行い利用者に快適な環境を提供している。 リビング兼食堂から見える庭はとても広く、パターゴルフ場や自家菜園が設けられ、家庭的で心安まる環境となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、和室、サンルーム、玄関の椅子などそれぞれ好きな空間で過ごすことができる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家具や寝具など本人の使っていたものや思い出の品を置いていただいている 過ごしやすいように配置も本人と家族にまかせている	利用者は居室に使い慣れた家具や箆笥、テレビ、仏壇など様々な物品を持ち込むとともに、趣味を楽しんだり、テレビを見たり、他の利用者とお茶を飲んで過ごすなど、利用前の生活と変わりのない居心地の良い暮らしができるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室に「ゆ」ののれんをかけ、トイレのドアの色を変えて場所がわかるよう支援している 廊下の手すりの使用で自分で自立した生活ができるようにしている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム久慈浜

作成日 平成 22年 5月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	面会時や、運営推進会議で意見を聞くが、全ての利用者家族から率直な意見を聞く機会がなかった	無記名のアンケートを実施し、利用者家族の望む満足できる援助を行う	ご家族へのアンケート実施 アンケート結果の分析 職員間の話し合い 改善につなげる	平成22年 6月～10月
2	33	看取りの経験はなく、実際にターミナル期の入居者がいた場合に不安がある	ターミナルの入居者に対し適切な対応ができるよう準備をする	指針の見直し 協力病院の医師との話し合い 協力体制の確認 職員の研修	平成22年 6月～10月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。